

日韓友好交流公園・風の丘 (鳥取県 琴浦町)

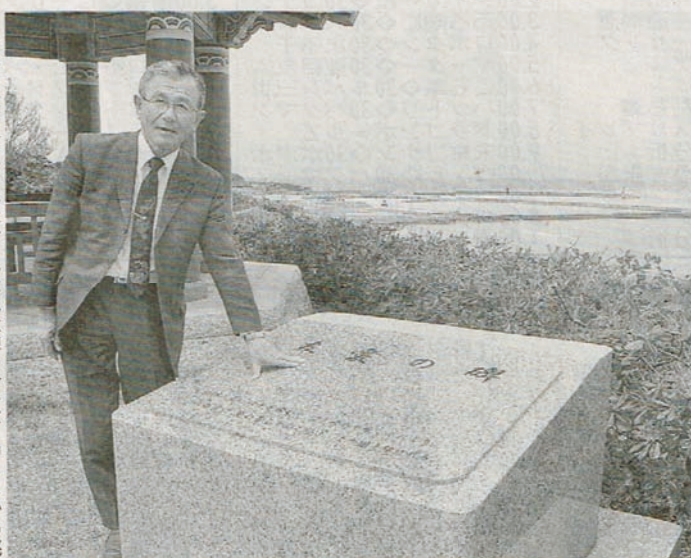
「風の丘」は、琴浦町別所の日本海を臨む高台にあり、この地に漂着した韓国の船を2度、地元の人々が救助した史実に基づき、両国の友好を願う場所として2003年8月にオープンしました。

1819年に韓国江原道を出港した商船が嵐で難破して漂着しました。当時の鳥取藩は船長以下12人を手厚くもてなして長崎まで送り、一行は無事、帰国できました。県立図書館には船員の肖像や船長からの感謝の言葉を記した掛け軸が保存されています。

1963年2月には釜山港を出た漁船が機関故障で漂流し、沖合に座礁。乗員8人は約1か月間、町に滞在し、修理を終えた船で帰国しました。

両国も恋人も心つなぐ

1畝の公園には、漂着の様子を再現した模型や韓国文化を紹介するパネルなどを展示する「日韓友好資料館・物産



日本海を臨む高台に設置された記念碑を前に、「ここから眺める夕日は格別です」と話す松岡さん(鳥取県琴浦町で)

ガイド 米子自動車道米子インターチェンジから国道9号を東に約50分。資料館・物産館は入館無料で水曜休館。公園は年間を通して開放している。問い合わせは琴浦町観光協会(0858・55・7811)。

館」や、高さ4枚の韓国製御影石で作られた日韓交流記念碑などがあります。日韓友好の象徴として設置された「石風車」もあり、韓国の方角からの風を受けて重さ約2トもある石造りの風車が回る様子は圧巻です。

国道9号沿いにあり、隣接する道の駅「ポート赤碕」と合わせると年間約30万人が訪れます。近くには小泉八雲が新婚旅行で泊まった旧中井旅館や、浜辺の石が波に洗われて音を立てる鳴り石の浜があります。夕日の名所でもあり、2011年にはNPO法人「地域活性化支援センター」静岡市がデートやプロポーズに最適な場所とされる「恋人の聖地」に認定しました。